

かじき 図書館だより

2019年
10月号
Tel 62-2605

読書週間 10月27日～11月9日

『おかえり、栗の場所で待ってるよ』

図書館フェスティバル開催!

日時: 11月3日(日)
午前9時から
場所: 始良市立中央図書館

催し一覧

- おはなし会スペシャル
- 英語絵本のよみかたり
- クイズラリー

- 古本・古雑誌無料配布
- ビブリアバトル ★参加者募集
- 布マスコット作り
- 本の病院・コーティング
- POPを作ろう!
- あいあい号展示
- 映画上映 など

詳しくはパンフレットをご覧ください。

◆ 保存期限切れの雑誌を無料配布いたします ◆

10月12日(土)から、加治木図書館の玄関に配布コーナーを設置します。おひとり様3冊まで、ぜひご利用ください。

特別資料整理間休館のお知らせ

期 間: 11月11日(月)～11月21日(木)

蔵書点検や館内整理を行うため上記の期間休館致します。ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承くださいませようお願い申し上げます。 ※返本箱はいつでもご利用いただけます。

★加治木館以外の図書館・図書室は平常どおり開館しています。

★中央図書館は、12月2日(月)～12月16日(月)が

特別整理期間で休館となります。

かじきとしょかん 今月のおはなし会

日時: 10月26日(土) 10時30分

お気軽にご参加ください♪お待ちしております～!



【喫茶が恋しくなる本】 【鉄道で行く旅の本】

【秋の味覚を楽しむ】

【ハロウィーンの本・秋の絵本】



新着図書

- 一般書 -----
- *死ぬほど読めて忘れない高速読書
 - *ひと目でわかる心のしくみとはたらき図鑑
 - *一冊でわかるイギリス史
 - *CIAスパイ養成官
 - *今の空から天気を予想できる本
 - *むね肉レシピ365日
 - *しょぼい喫茶店の本
 - *夢もまた青し
 - *日本のヤバい女の子
 - *体感訳万葉集
 - *格闘
 - *20 CONTACTS
 - *センス・オブ・シェイム
 - *イヴリン嬢は七回殺される

- 上岡 正明
- 黒木 俊秀
- 小林 照夫
- 山田 敏弘
- 武田 康男
- 山中 順子
- 池田 達也
- 志村 ふくみ
- はらだ 有彩
- 上野 誠
- 高樹 のぶ子
- 原田 マハ
- 酒井 順子
- スチュアート・タート

- 児童書 -----
- *じゃない!
 - *うみへいったちいさなカニカニ
 - *丘のうえのいっぽんの木に
 - *しゅくだいかけっこ
 - *友だちをやめた二人
 - *ヤナギ通りのおばけやしき
 - *ヘンなかたちの化石
 - *ローマ字学
 - *日本のパラリンピックを創った男 中村裕
 - *〈ビジュアル入門〉ラグビーがわかる本

- チョーヒカル
- クリス・ホートン
- 今森 光彦
- 福田 岩緒
- 今井 福子
- ルイス・スロッドキン
- 土屋 健
- 稲葉 茂勝
- 鈴木 款
- DK社編著

乳幼児向け

- *おばけばたけのおふろやさん
- *おかたづけバストリオ

- とよた かずひこ
- 新井 洋行

読書推進活動

「読書週間」のはじまり

第1回「読書週間」は、終戦の2年後の1947年(昭和22年)、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに開催されました。第1回は11月17日～23日で、これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、第2回からは、現在の10月27日～11月9日となったのです。それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。本年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらいきっかけとなることを願っています。

参考資料:「読書推進運動協議会」ホームページ

10月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

14日/22日: 祝日開館

23日: 開館延長日(午後7時まで)

24日: 資料整理休館日

26日: おはなし会



始良市立図書館ホームページ
(<http://lib-aira.jp/>)
でも図書館の情報を発信しています。